

リスクに備える

本日の授業内容

1. 将来について考えてみよう
2. リスクって何？
3. 民間保険って何？
4. まとめ

1. 将来について考えてみよう

これからどんなことが
起きるのかな・・・



さまざまなライフイベントがあるよ



結婚費用

約**340万円**

(挙式、披露宴・ウエディングパーティーにかかった総額)



教育費用

約**1,000万円**

(幼稚園3年間、小学校～高校は公立、大学は私立文系に通った場合)

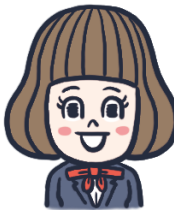


住宅購入費用

約**5,000万円**

(土地付き注文住宅※新築の場合)

ライフイベントとは、「人生の中の大きな出来事」。
お金が必要になる場面があるので、自分の将来について考えておくこと(生活設計)が大切なんだね。



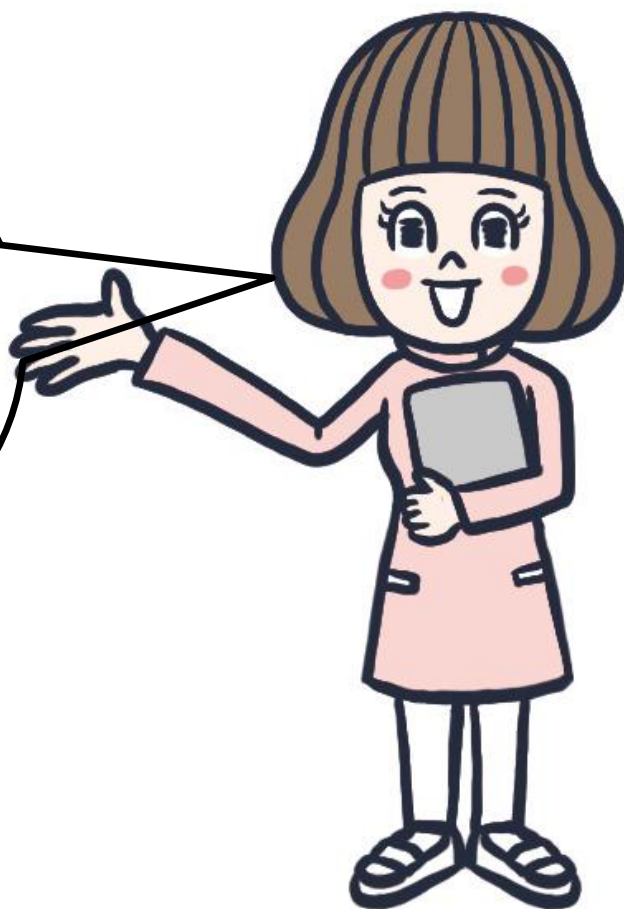
*【結婚費用】リクルートブライダル総研「ゼクシィ結婚トレンド調査2024」(上記数値は挙式、披露宴・ウエディングパーティーにかかった費用の概算合計)

【教育費用】幼稚園から高校までの費用は、文部科学省「子供の学習費調査」(令和5年度)、大学の費用は、文部科学省「私立大学入学者に係る初年度学生納付金平均額調査」(令和5年度)をもとに生命保険文化センターが作成(上記数値は概算合計)

【住宅購入費用】住宅金融支援機構「フラット35利用者調査」(2024年度)(上記数値は土地付き注文住宅の建設費・土地取得費の平均金額)

将来の自分や家族のことについて 考えてみよう。


みんなは将来どんな
生活がしたい？
どんな職業に就きたい？



2. リスクって何？

リスクって、起きてほしくないことで、起きるとお金がかかることが多いんだよ。



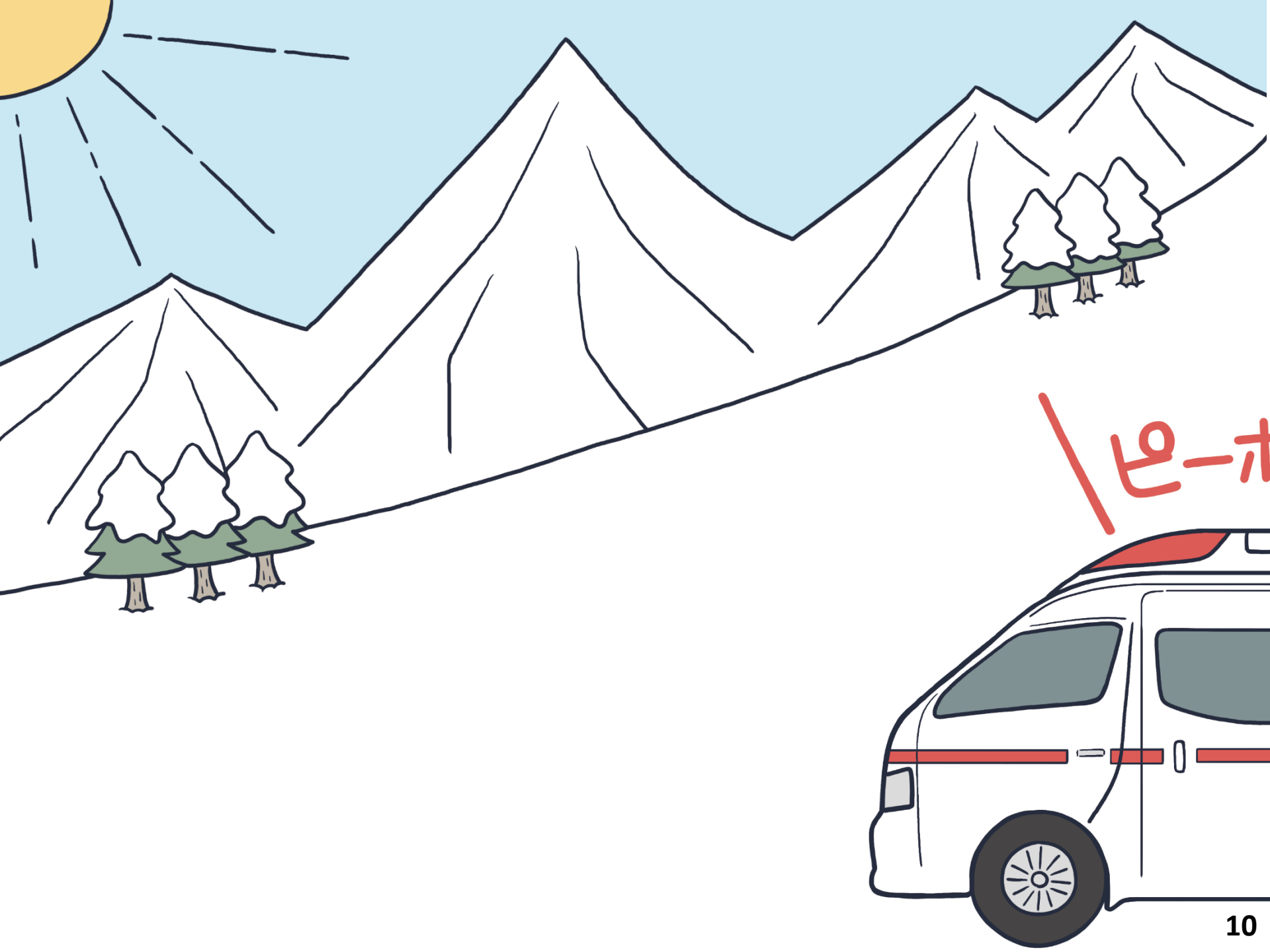


今日は沢山
すべるぞ〜！

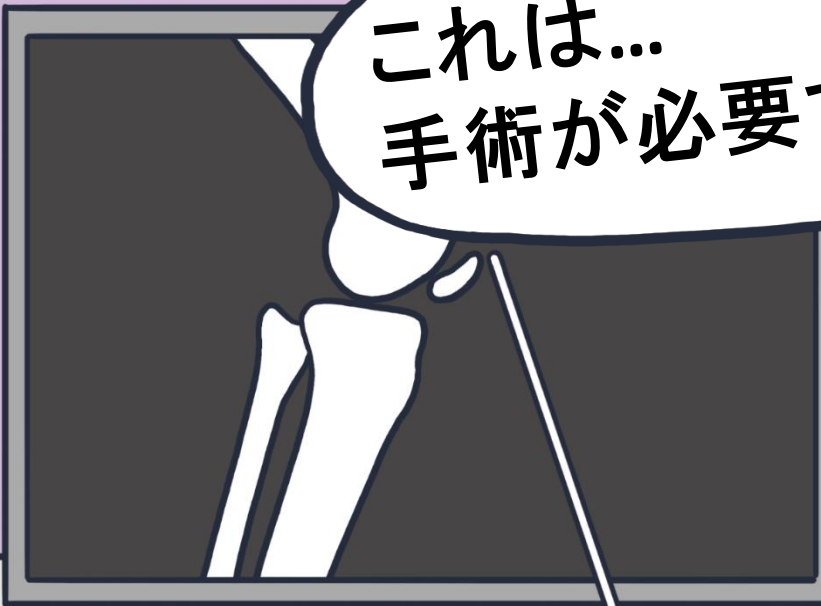








ううっ...



これは...
手術が必要ですねぇ



①必要となるお金(事例)

★足の骨折で手術が必要となり、9日間入院した事例

—

①必要となるお金

かかった医療費	約140万円
その他	約3万円
<hr/>	
合計	<u>約143万円</u>

※生命保険文化センター「医療保障ガイド」(2025年4月改訂版)をもとに作成

※その他・・・入院中の衣類・日用品やお見舞いに来た家族の交通費・食費等



② 入ってくるお金(事例)

+

② 入ってくるお金

公的保障 (公的医療保険)	約129万円
------------------	--------

合計	約129万円
----	--------

※生命保険文化センター「医療保障ガイド」(2025年4月改訂版)をもとに作成

ケガや病気で入院したときには、国などから受けられる公的保障として、「**公的医療保険**」があります。

※実際は健康保険組合などから医療機関に支払われるもので、実際に高額な立替えが必要なわけではありません。

③自分で準備する必要があるお金(事例)

「必要となるお金」から「入ってくるお金」を差し引いた金額が自分で「準備する必要があるお金」。



−

①必要となるお金

かかった医療費	約140万円
その他	約3万円

合計	約143万円
----	--------

+

②入ってくるお金

公的保障 「公的医療保険」	約129万円
------------------	--------

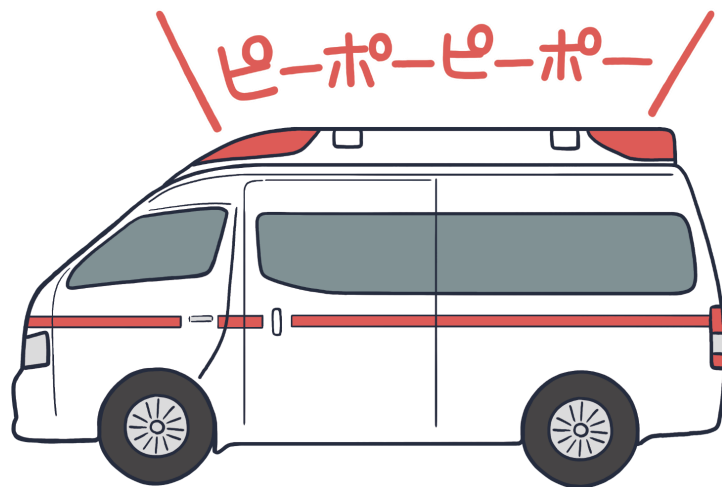
合計	約129万円
----	--------

=

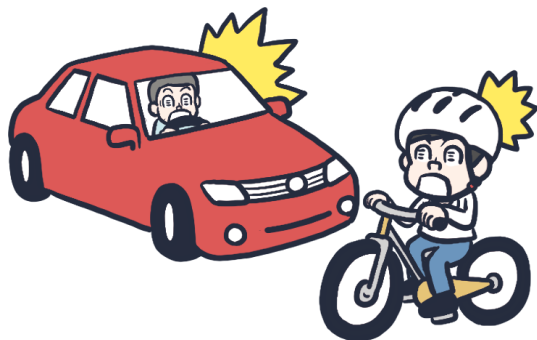
③自分で準備する必要があるお金

約14万円

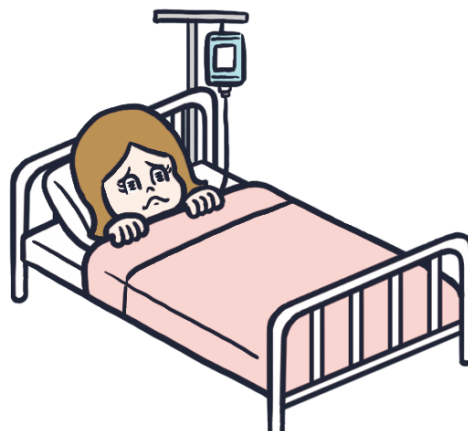
この他に、**日常生活の中に
どんなリスクがあるかな？**
思いつくものを書いてみよう！



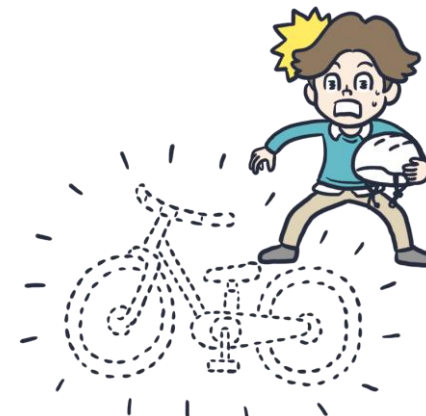
どんなリスクがあるかな？



交通事故



病気で入院



自転車の盗難



介護



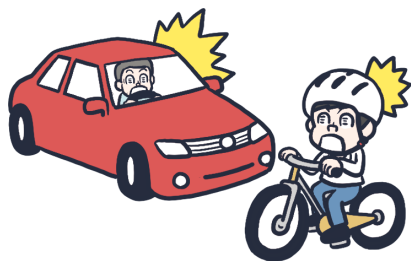
スマホを破損

リスクに関するクイズ①

【問題 1】

交通事故はどれくらい発生しているの？

A. 2分に1件 B. 10分に1件 C. 1時間に1件



交通事故

【答え】

A. 2分に1件

⇒ 290,895件/年

約108秒に1件

* 警察庁「交通事故発生状況」(令和6年)

リスクに関するクイズ②

【問題 2】

入院する人はどれくらいいるの？

A. 2秒に1人 B. 20秒に1人 C. 2分に1人



病気やケガで入院

【答え】

A. 2秒に1人

⇒ 44,210人/日

約2秒に1人

*厚生労働省「医療施設（動態）調査・病院報告」（令和6年）

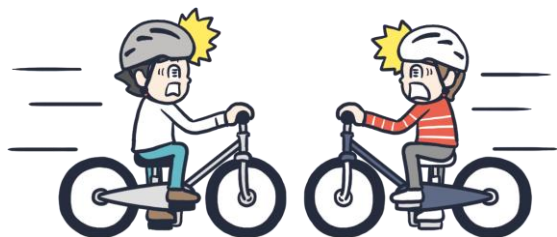
リスクに関するクイズ③

【問題3】

被害にあった男性会社員への賠償額はいくらだった？

男子高校生が昼間、交通ルールを守らずに自転車で車道を斜めに横断していたところ、対向車線を自転車で走っていた男性会社員と衝突してしまい、男性会社員に重大な障害（言語機能の喪失等）を負わせてしまった。

A. 100万円 B. 1,000万円 C. 1億円



事故を起こした

【答え】

C. 1億円⇒ **約9,266万円**

(東京地方裁判所、2008年6月5日判決)

*一般社団法人日本損害保険協会「ファクトブック2025」をもとに生命保険文化センターが作成

自分の身を守るために

リスク

法で強制

① 公的保障

国
など

社会保障制度 (社会保険等)

【主な社会保険】

公的医療保険



公的年金保険



② 私的保障

本人の意思

自分

預貯金



民間保険



「社会保険」とは

社会 保険

制度

1. 公的医療保険

2. 公的年金保険

3. 公的介護保険

4. 労働者
災害補償保険

5. 雇用保険

主な保障の内容

病気やケガにかかる治療費



・老後
・障害状態時
・遺族 } の生活費など



介護サービス費用
(訪問介護など)



仕事中のケガ等の治療費



失業時の生活費



3. 民間保険って何？

自分の身を守るために

リスク

法で強制

① 公的保障

国
など

社会保障制度 (社会保険等)

【主な社会保険】

公的医療保険



公的年金保険



② 私的保障

本人の意思

自分

預貯金



民間保険



保険のしくみ①

100人の部員がいる
サッカーチーム



毎年
5人の部員が
骨折を
している



対策をしても
ケガは減らない...



治療にかかる費用は
1人10,000円



保険のしくみ②

全員で治療にかかる
費用を準備すれば
よいのでは？



治療にかかる費用は
全員分で
 $10,000\text{円} \times 5\text{人}$
➡ $50,000\text{円}$



$50,000\text{円} \div 100\text{人}$
➡ 1人あたり
年間500円



骨折した生徒は
 $10,000\text{円}$ を受け取り、
治療費にあてる

保険のしくみ③

ケガに備えるために……

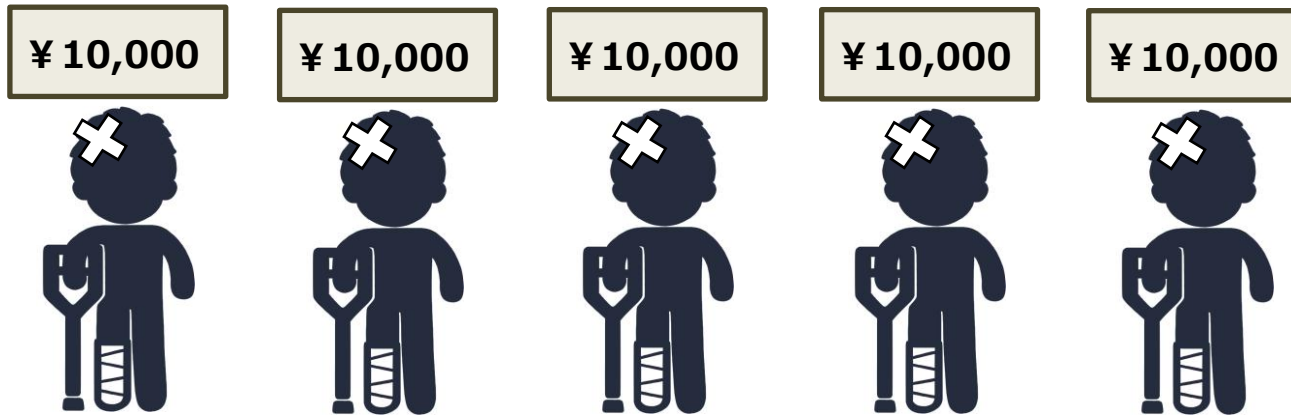
それぞれが
出し合う費用



×



100人



骨折した5人は10,000円ずつ受け取り、治療費を支払える

生命保険と損害保険

生命保険

損害保険

対象

人

モノ

受取額

あらかじめ約束した
金額

事故により発生した
損害額

備えられる
リスク

- 死亡
- 病気・ケガ
- 老後
- 介護



など

- 交通事故
- 火事
- 台風や地震
- ケガ



など

どのくらいの家族が契約しているの？

【問題】

国内で「生命保険」を契約している
家族の割合は約何%？

A.約50%

B.約70%

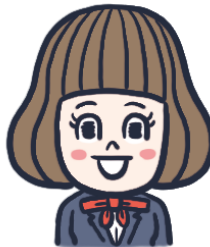
C.約90%

【答え】

C.約90%

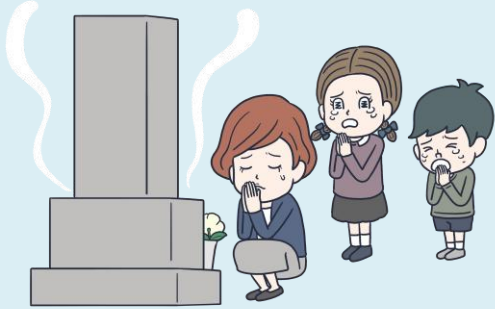
⇒ 89.2%

1件でも生命保険
に加入している家
族の割合だよ。



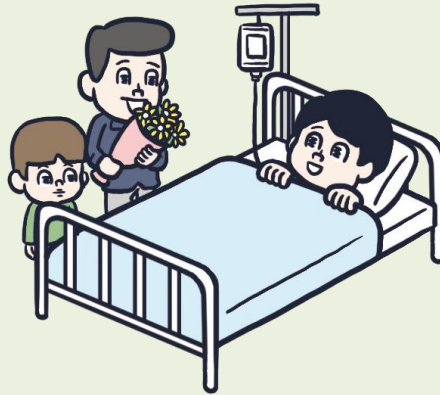
様々な「民間保険」

死亡保険



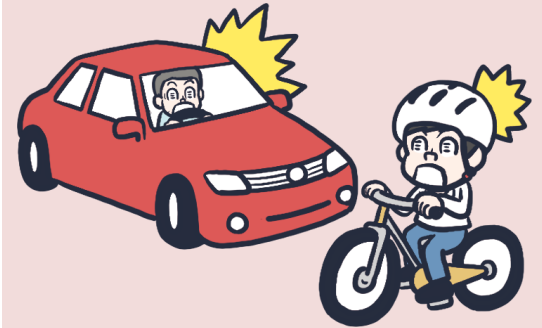
**人が亡くなっ
た場合、保険
金が支払われ
る**

医療保険



**病気やケガで
入院や手術
した場合、
保険金が支
払われる**

自動車保険



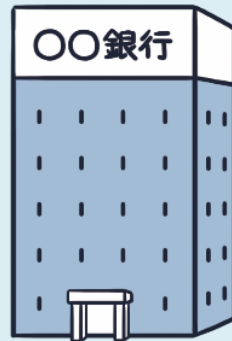
**自動車で事
故を起こした
場合、保険金
が支払われる**

「預貯金」と「民間保険」の違い①

預貯金



お金を預ける



お金を引き出す

お金が必要になると

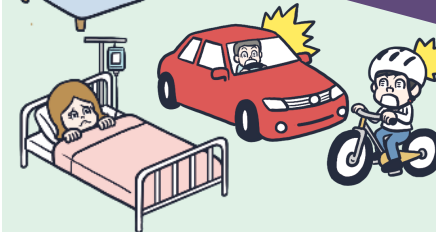
民間保険



お金(保険料)を支払う



お金(保険金)を受取る

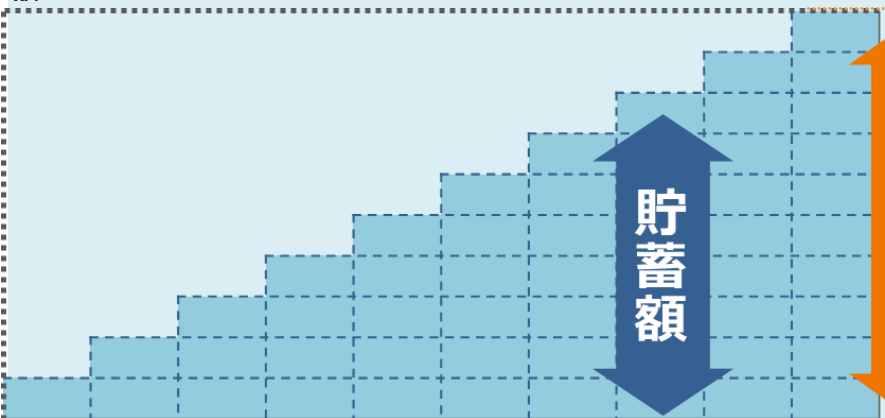


リスクの起きた人が

「預貯金」と「民間保険」の違い②

預貯金

目標額

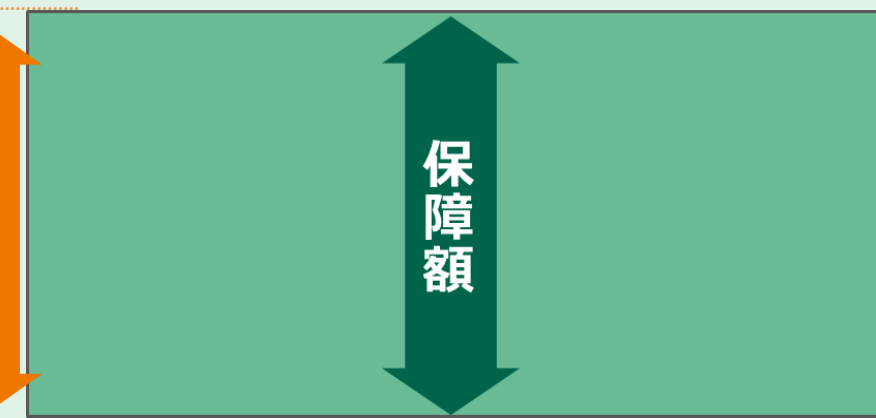


貯蓄額は毎年100万円（総額1,000万円）

特徴

**さまざまな目的の
ために貯める**

民間保険



保険料は毎年約3万円（総額約30万円）

特徴

特定のリスク
に備える

注 ①預貯金は利子や税金などを考慮しない金額。②保険料は男性（30歳）契約で、保険期間10年、保険金額1,000万円の定期保険の例。実際の保険料は、保険種類や契約内容、生命保険会社によって異なる場合があります。

「預貯金」と「民間保険」の違い③

預貯金

メリット

- 貯めたお金は**自由**に使うことができる。
- 途中での引き出しや貯めるペースが**自由**。
- 預けた金額に応じて利子がつく。

デメリット

- 途中で病気やケガ等、リスクが発生した場合に、**必要な金額が貯まっているとは限らない**。

民間保険

- 途中いつでも、病気やケガ等のリスクが発生した場合に、**あらかじめ決められた金額**を受け取ることができる。

- 結果的にリスクが発生しなくても、決められた金額を保険料として支払う必要がある。（保険の種類によっては一部戻ってくる場合がある）

4. まとめ

まとめクイズ①

【問題1】

国などが支えてくれる社会保障制度。
その中の、リスクが発生した時に支えて
くれる保険はどれでしょうか？

A. 生命保険

B. 損害保険

C. 社会保険

【答え】

C. 社会保険

【問題 2】

公的年金制度の一つである国民年金は、何歳から加入義務が発生するのでしょうか？

A.18歳

B.20歳

C.22歳

【答え】

B.20歳

【問題 3】

生命保険で備えられる
リスクはどれでしょうか？

A. 病気や人が
亡くなった時

B. スマホの破損

C. 自転車の
盗難

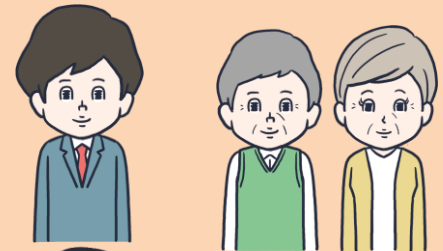
【答え】

A. 病気や人が亡くなった時

まとめ

- ① 日常生活の中にさまざまなリスクがあることに気づくことが大切。
- ② リスクから自分の身を守る手段として、社会保障制度だけでなく、自分で備えることも大切。
- ③ 社会保障制度で足りない部分を、預貯金や民間保険を利用して準備することが大切。

リスクについて考えることは、
とても大切なことです。



自分や家族の「人生」について
考えることにもつながります。



自分の生活や将来に関心を持ち続け、
自分から情報を集めようとする姿勢が大切
です。